

掲示板のことは

生と死は

正反対

じゃなく

隣り合わせに

あるもの

芦田愛菜

2026. 02

この言葉は、芦田愛菜さんが声優をされた映画『海獣の子供』が公開された際のインタビューの中で表現された言葉です。

かつて谷川俊太郎さんも同じような表現をされていました。それは、「みんな生と死は正反対だと思っているけれど、本当はそうじゃないと思う。もっと地続きのもの」という言葉です。

「死」ということは、必ず「生」があるところにあるものです。「生」もそうです。「死」があるからこそ、いま「生」があると言えるのでしょうか。

つまり「生」と「死」は、繋がりを持った事象であるということとも言えるのです。どちらか一方だけが「ある」、のではないのですね。

むしろ、「死」を恐れる対象ではなく「生」の一部として受け入れることで、今をより良く生きることができるようにも思います。

「隣り合わせ」という表現が、何か、素敵だなと思うのです。

私たちは日常生活の中で、楽しく生きたい、幸せに生きたいと願いますが「死」ということはなるべく考えずに、遠ざけたいと無意識に思ってしまう。

でも、「死」を考える、意識することで、「生」がより輝きを増して実感できるということもあるのではないのでしょうか。

仏教では「生死一如（しょうじいちによ）」と言われます。

まさに、「隣り合わせにある」ことが教えられます。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹